

開設50周年記念誌

利用者と共に歩む
過去～現在～未来



社会福祉法人 慈 光 園



2015

人は互いに慈しみあい光りあって生きていこう

ご挨拶



社会福祉法人 慈光園
理事長 榎根 義隆

社会福祉法人慈光園は、今年開設50周年を迎えることができました。これも偏に、御指導、御支援くださいました全ての方々のご賜ものと厚く御礼申し上げます。

法人設立及び施設開設の50年前の当時は、経済の急激な発展にともない、それまでの家族の在りようも大きく変化し、いわゆる核家族が出現し始めた時期であり、また平均寿命が延び高齢人口も増加し始めた時期でもあります。このような社会情勢のなか奈良県にあつては、身体上または精神上的の支障があり常時介護を必要とする高齢者が相当数おられたが、これらの人々を受け入れる特別養護老人ホームは1カ所もない状況でありました。

そのような中、奈良県で初の特別養護老人ホームを開設すべく、当時奈良県社会福祉協会会長でありました石井政一氏、衆議院議員の奥野誠亮氏による強い働きかけに、大和高田市の温かいご理解を得て、昭和40年10月1日に大和高田市吉井に慈光園を開設することができました。

その後、32年が経過し施設も設備も老朽化し他の特養ホームに比べて見劣りするようになった平成9年に、大和高田市が計画された「総合福祉ゾーン」に移転増改築をすることを決議いたしました。

そして、松尾克己副理事長を始め県並びに市当局、関係役職員皆様のご尽力により、平成12年2月大和高田市池田に、特別養護老人ホームを中心に、ショートステイ、デイサービスセンター、居宅介護支援センターを備えた高齢者総合福祉施設として生まれ変わりました。

この50年を振り返ってみますと、高齢者福祉を取り巻く情勢は大きく、激しく変革したように感じております。なかでも平成12年に誕生した「介護保険制度」は介護に対する考えを一変させました。今まで家族の中で「ひっそり」と「さみしく」行うことが多かった「介護」という領域を家族などの個人ではなく社会全体で支えていこうというものであります。そして、介護を必要とする人が必要なサービスを自由に選択できるようになったのであります。この意義は計り知れないものと感じております。

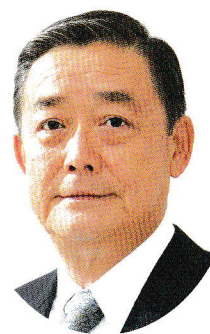
今後、社会環境の変化とともにこの介護保険制度も前進し続けますが、当法人もその一翼を担うため、役職員一同、日々研鑽に努めてまいります。

最後になりましたが、当法人は、「人は互いに慈しみあい光りあつて生きていこう」を基本理念として、在宅サービス充実はもちろんのこと、施設利用者に喜んでいただけるよう最善を尽くす所存でございますので、今後とも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

祝 辞

衆議院議員

奥野 信 亮



慈光園がこの度、開園から50周年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。半世紀に亘る貴園の高齢者福祉の向上へのご貢献に敬意を表する次第であります。

この記念誌に私がお挨拶の機会をいただきましたのは、地元選出の国会議員として、そして私の父であります奥野誠亮が貴園の初代の理事長を務めさせていただいていたというご縁のお陰と理解を致しております。

さて、貴園の開園は昭和40年、私の父の初当選が38年ですから、まだ一期目の新人議員の時になります。年賀寄付金による社会貢献助成事業(お年玉つき年賀ハガキの資金)を活用され、広域型の特別養護老人ホームとして、大和高田市の吉井に開園。奈良県における特別養護老人ホームの第一号であり、まさに特養のパイオニアとしてその歴史をスタートされました。大和高田市のサポートはもちろんのこと、計画から竣工に至るまで奈良県からの様々な配慮もあり、運営を始められる際に、県の方から私の父に理事長をお引き受けするようすすめがあり、理事長就任に至ったと聞いております。現在の樫根理事長には父の大和高田市における後援会の活動でもたいへんお世話になりました。父と同様、ご高齢ではありますが、お元気で活躍されている姿を拝見し、嬉しく思っております。

その後、貴園は吉井の地での整備や増築を経て、平成12年に現在の大和高田市池田の総合福祉ゾーンに移転、デイサービスや居宅介護支援事業の新設や特別養護老人ホーム・ショートステイを増設され、現在まで本当に充実したサービスを提供していただいております。しかしながら特養の重点化や介護報酬の削減など特別養護老人ホームを取り巻く現状は決して楽観できるものではありません。我々も特別養護老人ホームの社会のセーフティネットとしての役割をしっかりと認識し、より充実したサービスを提供していただけるよう、国政の場でも取り組んで参りたいと思いますので、関係各位のご指導をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、慈光園が次の半世紀に向けて更なる発展を遂げられますようご祈念申し上げます、ご挨拶と致します。

祝 辞

奈良県知事
荒井正吾



このたび、社会福祉法人「慈光園」が開園50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴法人は、「人は互いに慈しみあい光りあって生きていこう」という理念のもと、昭和40年に県内初の特別養護老人ホーム「慈光園」を開設され、高齢者福祉を先駆的に展開してこられました。また、介護保険制度の創設を機にデイサービスや居宅介護支援の新設、特別養護老人ホームやショートステイの拡充にも取り組まれるなど、今日に至るまで長年にわたり地域における高齢者福祉の向上のためにご尽力をいただきましたことに対し、深く敬意を表します。

さて、団塊の世代が75歳を迎える10年後の2025年には、後期高齢者の大幅な増加のため、介護や医療が必要な高齢者の急増が見込まれています。

こうしたなか、県では、高齢者が健康で生きがいをもって活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目指して、奈良県高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業支援計画を本年3月に策定しました。

この計画では、「地域包括ケアシステムの構築」、「介護人材の確保及び介護保険制度の着実な運営」、「高齢者の生きがいづくりの推進」を3つの柱とし、県は、様々な関係機関や市町村と連携し、県民の皆様にも参画いただきながら計画の実施に取り組むこととしています。

貴法人におかれましても、50年の長きにわたり培ってこられた経験を活かし、引き続き、地域における高齢者福祉の拠点としての役割を果たされつつ、今後一層発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

大和高田市長
吉田 誠 克



このたび、社会福祉法人慈光園が運営されています特別養護老人ホーム慈光園が開所50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

社会福祉法人慈光園におかれましては、昭和40年10月に奈良県下で最初の特別養護老人ホームを大和高田市吉井に、そして平成12年4月に介護保険制度の施行に合わせ、大和高田市池田の現在地に移転、老人総合福祉施設を開所され、私ども大和高田市の高齢者福祉におけるパートナーとして歩んでいただいております。

これも、ひとえに貴法人の理事長、役員の方々をはじめ貴施設の園長や職員の皆様方の並々ならぬ熱意とご尽力の賜であり深く敬意を表するものでございます。

さて、わが国においては、2025年に約800万人と言われる団塊の世代が後期高齢者となり、介護や福祉分野の需要は、増加が予想されます。そうした中、本市におきましては、すべての高齢者が、敬愛されるとともに、生きがいを持ち、また、介護が必要となったときにも、住み慣れた家庭や地域の中で、尊厳を保ちながら、安心して暮らし続けることができるように、「市民一人ひとりが、身近な地域での支え合いの関係を築きながら、誰もがいきいきとすこやかに尊厳を持って暮らせる社会の実現」を基本理念として、今年、「大和高田市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画」を策定し、その推進に向け取り組んでいるところであります。

この計画の推進にあたっては、今まで以上に、地域の各種関係団体・組織、事業者との協働が必要不可欠でありますので、慈光園の皆様の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人慈光園が開設50周年を契機とされまして、今後ますますご発展されますとともに、役員をはじめ職員の皆様、そして関係の皆様の御健勝と御活躍を心から御祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。